

指導部だより(あったかハート推進週間の取組)



【温かな心の育成】

附属小学校では、子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。6月は、以下の内容で行いました。

月	期 間	内 容
6月	6/2(月)～6/6(金)	道徳科の授業 内容項目：親切、思いやり

【実際の授業】

1年生では「ないちゃった」という教材文で、「親切」について考えました。子供たちは、「年下の子とボールの取り合いになった主人公のきみえさんは、どうしたらよかったのか」について、年下の子の気持ちに寄り添って考えることで、いろいろな親切な行いがあることに気付きました。



授業の振り返りの場面では、「きみえさんが、ボールをゆずってあげた方が、よかったのではないかな」、「ボール遊びをするときは、一人より二人の方が楽しく遊ぶことができ、お互い気持ちがよいと思います」、「『いっしょにボールを使おう』と言ったらよかったと思います」といった感想がありました。「親切とはどういうものか、親切にするとどんなよいことがあるのか」について考えを深めていました。

【各学年で行った授業後の子供の感想】

- 2年生：「公園のおにごっこ」を読んで、思いやりのある行動をするために、相手の本当の気持ちを考えることが大事だと思いました。理由は、相手の本当の気持ちを考えて行動しないと、相手が悲しい気持ちになるかもしれないからです。
- 3年生：「ぼかぼか言葉」を読んで、言われて悲しくなる言葉を言ってしまったことを思い出しました。これからは、もっと相手のことを考えて行動しようと思いました。
- 4年生：「温かい言葉」を読みました。私が親切にするとときに気を付けることは、やさしい言葉をかけることと、やさしい態度で接することです。大変な思いをしている人には声をかけようと思いました。
- 5年生：「くずれ落ちた段ボール」を読みました。親切は、決して「ありがとう」と言われるためにするものではないと思いました。親切なことをして、他の人からはふつうのことだと思われたとしても、自分でよいことだと思えることができればよいと思いました。
- 6年生：「最後のおくり物」を読みました。思いやりは、相手が得をするものだと思っていたけれど、この授業を通して、自分も得をすることを知りました。もっと、思いやりのある行動を心がけていきたいと思いました。

今回の授業を通して、「親切な行動、思いやりのある行動」について、具体的に考えることができました。高学年では、親切の意義についても考えており、これからの生活に見通しをもつ子供の様子もみられました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。